

白神山地フィールドワークから見えてきた魅力 —東京都立大学の調査実習に参加した学生の感想から—

発行／2023年7月 NPO法人 白神共生機構 〒038-2731 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町赤石町大和田39-42
<https://www.shirakami-kyousei.com/index.html>

世界自然遺産・白神山地の文化的な魅力を再発見

白神のイメージと実際

白神山地に関する事前の知識としては雄大な自然を誇る世界遺産だということくらいしかなく、アクセスの悪さも起因して、厳かで近寄りがたいイメージがあった。山側と海側の観光資源がともに豊富であること、そしてその両方を一度に楽しめることが、この地域の優れている点であると感じた。
(高野さん)



入山規制や自然との 関わり方の多様性

マタギの人たちや地域住民は、白神山地から恵まれるものを生活の一部として生きてきた。彼らからすれば世界遺産委員の方がよっぽど「脅威」に見えてくる。(吉田さん)

そもそも、入山規制は山を荒らす人々を山に入れないための手段であり、マタギのような元から山に入って暮らしてきた人々を山から追出す必要はなかったのではないかと。(野崎さん)

暮らしの歴史から生 まれる自然との共存

自然と人は長い間相互に関わりながら生きてきたのであり、この「共存」を実感した時に初めて「守るべき自然」という意識が生まれるのだらうと思った。(木崎さん)

環白神地域の人々と白神山地とのつながりはそのような個人の趣味の範疇にとどまるものではなく、生業と深く関連しながら周辺地域全体の生活と発展、ひいては国家の発展とも深く結びついていたものであった。(小川さん)



東京都立大学の調査実習・白神山地フィールドワークの概要

東京都立大学人文社会学部の2022年度調査実習(教授・山下祐介)で、白神山地でのフィールドワーク・現地調査を行いました。特に、世界遺産登録地域に限らない環白神地域について、人びとの暮らしとその歴史に触れながら、人と自然のつながりやそのあり方について考えてきました。

調査実習を行った主要な日程と場所は、7月15～17日(秋田県藤里町、計1名)、9月6～9日(青森県西目屋村・鰺ヶ沢町・深浦町、秋田県藤里町・八峰町、計12名)、9月30日～10月2日(秋田県藤里町・能代市、計4名)、11月9～12日(青森県鰺ヶ沢町・深浦町、計2名)です。

ガイドの方にお話を伺いながら各地のトレッキングを行ったり、地図や史資料を見ながら巡検をしたり、ご年配の方に林業や鉱業など暮らしと山との関係についてインタビューを行ったりしました。



ガイドさんのお話から 感じた魅力と暮らしの 物語

植物や鳥類の説明はもちろんのこと、熊狩りの方法やその際に熊と素手でやりあったお話などマタギの経験がある方からしか聞けないような刺激的で興味深い内容を伺うことができた。（野崎さん）



ただ歩いているだけでは「綺麗な」「気持ちいいな」という浅い感想になりそうな山歩きが、ある木の使われ方やそれが使われていたころの情景を思い浮かべてみたり、山の動物たちの生き方を想像してみたりと、まるで自分も物語の世界に入り込んだような、そんな神秘的な体験に変わった。

（木崎さん）

環白神で育った文化を 継承していくために

今白神山地全体を知る人はいったい何人いるのだろうか。日本に住んでいる人の多くはその中間ぐらいの自然とのつながりを持っているのかもしれないが、都市部の人の考える自然と地方の人の考える自然には、かなりのギャップがあったように感じる。例えば焚火の機会が減った、山に入って写真を撮る機会も減った、知らない間に木が変化していたと話していた人もいた。（明石さん）



他の自然遺産は、屋久島の縄文杉や知床の湿原など、そこでしか見られないという貴重性や独自性を感じられるだけでなく、視覚的にインパクトがあるという点で価値が分かりやすいものを含んでいるように思う。それに対して、白神山地のブナ原生林はなんとなくその凄さは分かるが瞬時に伝わるような魅力が少ないと感じる。（中塚さん）

そのために、いかに世界遺産白神山地というブランドを利用して、山と自分たちのつながりも守り、自分達の地域を豊かにするかということについて真剣に考えるべきである。

（野さん）



世界自然遺産・白神 山地の文化的な魅力

実際は、白神山地には人の手は入っており、白神山地を中心に、林業が発達するなど、文化的な側面があった。おそらく、他の自然遺産でも、完全に人がかかわっていないという地域はあまりないと考えられる。そういった意味で、ほとんどの世界自然遺産は文化的でもあると言える。（新井さん）



NPO法人白神共生機構とは：世界遺産・白神山地と人間社会との共生を、新たな形で再構築するため、地元市民有志をもとに結成されました。環境保全事業や環境学習の支援、調査研究や情報発信を行っています。

学生の感想、および調査報告書は、右のQRコードと下記のURLからご覧ください。内容は随時更新中です！



<https://www.shirakami-kyousei.com/index.html>